2019 8-9 Live Art + Archive

+night

オルタナティブであり続けたい

blanClass はプレファブリックな建物。屋根も壁もとても薄く、猛暑日は冷房がほとんど効かないくらい暑くなるので、2012 年から 8 月は夏季休業を取るのが恒例だったが、今年の 10 月は 10 周年記念とクロージング関係のイベントが中心なので、通常のイベントが 9 月だけでは収まりきらなくなり、久しぶりに 8 月も開けることにした。なので、このチラシは 8 月と 9 月分、10 月分はあらためてということになった。

ちなみに 10 月最後のイベントは 10 周年記念イベントではなく、「ステューデントアートマラソン」の予定。
このチラシを作成をしている現在、そろそろ応募の〆切が迫ってきているが、まだ応募者はちらほら…、
でもまあ、ギリギリになってもなかなか埋まらないないのは毎度のこと、
また今回も土壇場でジタバタするかもしれない。
（再告知もあるかもしれません。ご興味なある方は web や SNS をチェックしてください。）

なぜラストイベントを「ステューデントアートマラソン」にしたかというと、ある意味で最も blanClass らしいイベントだと思ったから。そもそもこのステューデントイベントは、いろいろな教育の場で、なにかしら表現を始めてはみたけれど、自分の所属する専攻とマッチングがあわなかったり、卒業後、社会にすでにある、どういう専門にも、どんな領域にも、いかなる職場にも、ハマらないような気がする…。そんなステューデントたちが、一度今自分がいる場所から離れて、一息つけるような場をつくりたいという思惑があって始めた企画。

いまあらためて考えてみると、それは「ステューデントアートマラソン」だけのコンセプトというより、blanClass 全体の運営理念でもあったと思う。

私は、いつの世も既存のどんなジャンルからもはみ出している表現や発言こそが「アート」なのだと信じているところがあって、意識的にそう主張してきたのだが、どんなジャンルからもはみ出しているという のは、端から見るととてもわかりにくい。その上その状態をキープするというのは至難の技、良くも悪くもどこかしらに収まってくるもの。そうなると「アート」だということ自体に矛盾を感じる。

その昔大先輩に「お前に立つ瀬なんてねぇんだよ」といい捨てられたことがある。オルタナティブでアートな環境で育ってしまった私が、どんなに相反するような価値観にでも一定の共感を示すくせに、いちいち反発する様子を見て放たれた喝だった。その時の私は特別悪いことをしたわけでもなく「拠って立つ処がない」といった方が正解だった気もする。それがトラウマになったということもないけれど、未だどこにいてもアウェー感が拭えない。最近ではホームなはずの blanClass にいてさえ、浮いている気がする。

普通に考えたら、どんな活動でも、活動を進めていくうち、成熟というのか、主流になっていきたいと思うべきなのかもしれない。でも私の場合、どうしたってオルタナティブであり続けたいと願ってしまう。
それって、確かに拠って立つ処が得られないということ。もうひとつというより、幼い選択なのかもしれない。
それでもどこかに収まることで、いろいろなものが失われてしまうことに納得がいかない。結局は 10 年を機に思い切ってリセットすることにした。
そのリセットは「これでお終い」ではなく、これまで担った役割とは違うなにかの始まりであればと願っている。

小林晴夫

blanClass

ブランクラス *Live Art & Archive*

〒232-0006　横浜市南区南太田 4-12-16-2F　info@blanclass.com
http://blanclass.com　Twitter ／ facebook：blanclass
ディレクター　小林晴夫　安部祥子　野本直輝　スタッフ　村田紗樹　長屋涼香

blanClass 2019 August - September　イラスト　安部祥子　ロゴ　浅野 豪

2019 8

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 山の日
12 振替休日	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	9/1

17
大道寺梨乃
op. 17:30 / st. 18:00
¥2,000（ワンドリンク付・要予約）

24
田中功起
op. 18:30 / st. 19:00
¥2,000 / 学 ¥1,000
（キャッシュバック有・ドリンク別）

31
0,1、2人（外島貴幸+吉田正幸）
op. 18:30 / st. 19:00
¥1,500（ドリンク別）
op. 15:30 / st. 16:00
¥1,500（ドリンク別）

2019 9

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16 敬老の日	17	18	19	20	21	22
23 秋分の日	24	25	26	27	28	29
30						

7
few phew pur
作戦会議 18:00
実作・練習 19:00
上演 20:00
¥2,200（冊子代込）
¥2,000（冊子持参）

14
★★ SakSak #16
武本拓也
プレ上演18:00 – 18:50
上演 19:00
¥1,800（ワンドリンク付）

21
吉田和貴
op. 18:30 / st. 19:00
¥2,000（（ワンドリンク付）

22
ASSEMBLIES
後藤桜子／吉田和貴／村上滋郎 ほか
13:00 – 19:00
［13:00 – : お昼ご飯、15:00 – 17:00 : コアタイム］
投げ銭制

28
森田浩彰
op. 18:30 / st. 19:00
¥1,800（（ワンドリンク付）

Rental Space

blanClass のスペースを一般貸出します。映画撮影、CM 撮影、スタジオ、作品制作のアトリエ、会議室、セミナールームなどのスペース利用、また表現活動の発表の場として、幅広い用途にご利用いただけます。

＊イベントがある日程はサイト内のカレンダーにてご確認ください。
＊長期、定期的な貸出などを希望される場合はご相談ください。

利用可能期間
月曜日→金曜日　10:00 → 21:00（完全撤収）

料金プラン	個人・非営利団体	企業・営利団体
1 時間	6,000 円	20,000 円
3 時間	18,000 円	40,000 円
1 日	30,000 円	60,000 円

Live Art

Live Art

毎週土曜日は、Live Art ＋公開インタビュー。ワンナイト完結の、どんなことでもありのアートイベント。
おいしい軽食（無料）、飲物（有料）をご用意しております。

8.17［土］ パフォーマンス

大道寺梨乃　朝と小さな夜たち

プロフィール　撮影：小林由美子

「朝と小さな夜たち」は北イタリアのチェゼーナという小さな街で 2019 年の 5 月に発表された小さなパフォーマンスで、その街に暮らす日本人のわたしと、この街で生まれた娘の朝と毎日朝から晩まで彼女のために歌われる、歌についてのお話です。
（パフォーマンスはイタリア語と日本語で行われます）

open 17:30　start 18:00　￥2,000（ワンドリンク付）
定員 30 名程度　要予約

大道寺梨乃［朝と小さな夜たち］は予約が必要です。

▶**予約方法**　以下の内容でイベント前日までにメールにてご予約ください。〈メールアドレス〉info@blanclass.com
〈件名〉大道寺梨乃［朝と小さな夜たち］予約〈本文〉1）8 月 17 日　2）氏名　3）郵便番号　4）住所　5）メールアドレス　6）参加人数

8.24［土］ 企画会議、ネットワーキング

田中功起　Netflix 向けでもし撮影するときに僕がプランすること

《抽象・家族》2019　プロダクション・スチル

今回は、企画会議とネットワーキングのための場所を作ります。

近年のぼくの制作はどんどん長い映像を作る方へ向かっています。4、5 時間ともなれば、そもそも多くのひとは避けるでしょう。展覧会の空間で見せることに、限界も感じます。長さ的にはネットフリックスのミニシリーズぐらいあるわけですから。自分の制作方法も、アウトプットも含めて見直す時期にきています。

そこでまずはぼくの最近の制作プロセスについて話し（あいトリの新作『抽象・家族』を例にして）、そのあとにいま考えているアイデアをいくつか話してみます。アイデアを話ながら企画会議として、自由にみなさんと意見交換できたらいいですね。せっかくなので、ぼくと仕事をしてみたいという奇特な方がいればぜひ気楽に来てもらいたいと思っています。映像制作のプロデューサー、制作現場を取り仕切るラインプロデューサー（映像だけでなく、演劇でも）、撮影監督、照明技師など、あるいは問題意識を共有できる社会学者や政治学者、建築家などなど。その場で名刺交換ができたひとは参加費の一部をキャッシュバックします。

open 18:30　start（会議）19:00　一般 ￥2,000　学生 ￥1,000
（ドリンク別）　※入場料のキャッシュバックあり

8.31［土］・9.1［日］ コント、演劇、パフォーマンス

O,1、２人（外島貴幸＋吉田正幸）　井田田回回田田土

《井田田回回田田土》イメージ 2019 撮影：中川 周

階段の登り降りを繰り返す中での、エスカレーターで交差する瞬間のコミュニケーション。
下り坂と上り坂の数はどちらが多いのか? あるいは向こう側とこちら側の数を数えること。

8/31 open 18:30　start 19:00　9/1 open 15:30　start 16:00
￥1,500（ドリンク別）

9.7［土］ 演劇・参加型

few phew pur（フュー ヒュー ピュー）高山玲子＋前澤秀登＋新美太基＋一野 篤　ハイツ高山 ー エンドゲーム ー

《ハイツ高山》写真：前澤秀登

2019 年『ハイツ高山』はアトリエ（演習場）としての活動を終え、2022 年、半室内農園に改築。そして 2032 年、建物としての終焉を迎え、取り壊され更地となりました。
しかし、今は 2019 年 9 月。まだ間に合う ...？
このまま『ハイツ高山』を終らすわけにはいかない。さぁ、『ハイツ高山』エンドゲームの始まりです。

作戦会議 18:00 ー　実作・練習 19:00 ー　上演 20:00 ー（予定）
￥2,000（冊子持参）￥2,200（冊子代込）
※冊子『ハイツ高山』をお持ちの方はご持参ください。

9.14［土］ ★★ SakSak #16 ／上演

武本拓也　人の前に立つ事を、例えば狩りを手がかりに考えてみる

《羽と野ざらし》2019.4 上演　撮影：三浦雨林（隣屋）

人の前に人がいる。
その事の中には、事実と同時に事実ではない事も重なっていると思う。それはどっちでもあるし、どっちでもない。なにか別のもののような気がする。俳優と観客との具体的なやり取りを、例えば「狩り」の手つきで考えてみる事はできるのではないか。それは狩人の手つきであるだけでなく、獲物の手つきでもある。俳優は満身の注意で観客の視線をかいくぐり、最後の一瞬で矢を招き入れる。

企画 野本直輝

プレ上演 18:00 ー 18:50　上演 start 19:00
￥1,800（ワンドリンク付）

9.21［土］ レクチャー＋ワークショップ

吉田和貴　ゾーンシステム

アメリカのカルフォルニア州出身の写真家アンセルアダムス（1902-1984）。彼が考案したゾーンシステムというフィルムへの「最適な」露出と現像処理を決定するための技法のレクチャーの後に、その技法を使ってブランクラスにあるアーカイブを圧縮するワークショップ。

open 18:30　start 19:00　￥2,000（ワンドリンク付）

9.22［日］ アッセンブリーズ

ASSEMBLIES（アッセンブリーズ）

2018.9.23 ASSEMBLIES（アッセンブリーズ）

ASSEMBLIES（アッセンブリーズ）は、参加者が各々の関心やアイディアを持ち寄る不定期の集まりです。参加するアーティストやキュレーターは、興味のあるトピックや作品、調査資料について、展示、パフォーマンス、対話など参加者自身がふさわしいと思う形式で来場者にプレゼンテーションします。ASSEMBLIES では発想そのものを汎用に開いていくためのいとぐちとして実践し、対話や協働をとおした意図の転換や外部との連動によって与えられるその新しいファンクションを模索します。

参加 後藤桜子／吉田和貴／村上滋郎 ほか

13:00 ー 19:00　投げ銭制
［13:00 ー：お昼ご飯、15:00 ー 17:00：コアタイム］

9.28［土］ トーク

森田浩彰　先輩に学ぶミドルライフ・クライシス

《行方不明の絵》2015 HD ビデオ（16:11）額装された写真
撮影：椎木静寧

中年の危機（ミドルライフ・クライシス）という言葉があります。一般的には、体調の変化、親や子供、キャリアの問題等複数の重要事項が重なってくる時期といわれています。我々、アーティストにも展覧会が減る、経済問題等のアーティスト特有の問題も降りかかってきます（僕自身もまさにそのど真ん中にいる）。そこで諸先輩方を招いてどのようにその時期を過ごしてきたのか、その先には何が待っているのかを学んでいきたいと思います。
※当日、来てくれる諸先輩は現在交渉中です。決まり次第 Web に UP します

open 18:30　start 19:00　￥1,800（ワンドリンク付）

ステューデントアートマラソン vol.15 参加者募集！

blanClass 休業前の最後のイベント、ステューデントアートマラソン vol.15 の出演者を募集します。現役学生であれば、専攻も問いませんが、マラソン形式なので、各組 10 ～ 20 分程度の発表時間を考えて、作品や行為のプランを練って、奮ってご応募ください。

応募概要　作品のフォーマットは自由ですが、マラソン形式、各組 10 分～ 20 分程度の発表形式ということを踏まえてプランを出してください。また必要な機材は基本持ち込み、交通費・制作費は自己負担でお願いします。

本番の日程　2019 年 10 月 26 日（土）13:00 ～ 20:00（予定）会場 blanClass　定員 10 組

応募〆切　2019 年 7 月 21 日（日）必着（7 月末日に参加者発表予定）

応募資格　大学、大学院、専門学校などに通う現役学生。専攻は問いません。

応募方法　公式サイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールまたは郵送にて企画プランを提出、エントリーとします。

選考方法　書類選考はしますが、応募者の人数があまりにも多かったり、物理的、時間的、技術的に不可能な場合は展示、出演できないことがあります。その場合でも応募者全員のプランは公開されます。

blanClass ＋ product

+product

blanClass のウェブストアページのご紹介です。オリジナル、関係しているアーティストのグッズ、書籍、ポスターなどを販売しています。
http://bproduct.thebase.in

DVD ｜多田正美 w/ 鈴木理策［西浦の田楽］　オープン価格

音楽家、多田正美の表現に大きな意味を持つ奇祭、「西浦の観音様のお祭り」（静岡県西浦地区）を地続きの文化として交換してみようという企画。2011 年 10 月 29 日「新・港村」にて、中川敏光、伊藤啓太、柿ハンドルドライブと舞いびとたちとともに制作されたパフォーマンスと「西浦の観音様のお祭り」の映像＆多田正美インタビューを収録した DVD。

Sa+ ISSUE # 004 声と芸術生産　￥500

＋ journal シリーズの 4 号目《Sa ＋ 声と芸術生産》は、紛争やテロ、難民危機、安全保障関連法案、ヘイトスピーチやそれらに対するカウンターなど、現在の状況に対する「声」をテーマに、批評文、詩、散文、写真、ドローイングなどの様々な形式のテキストや視覚表現で構成されたタブロイド誌。

Va+ ISSUE # 005 勝利と芸術生産　￥500

＋ journal シリーズの 5 号目《Va+ 勝利と芸術生産》テーマは、2016 年のアメリカ大統領選挙、イギリスの EU 離脱をめぐる社会状況をふまえ、「勝利」と、逆説としての「敗北」、そして「勝利 - 敗北」という構造そのものと芸術生産の可能性について。

market by market #12 特集『スカイホーク』（1997 年 3 月発行）　￥ 1,500

1969 年と 1995 年に原口典之によって制作された 2 つの "Sky Hawk" を巡り、二つの時代を行き来しながら考察を試みる。blanClass ディレクター小林晴夫若かりし頃、幻のアーティスツ・ラン・スペース「market」と共に編集した希少本。

ブランクラス *Live Art & Archive*

〒 232-0006　横浜市南区南太田 4-12-16-2F

アクセス

京浜急行 [井土ケ谷駅] 下車。エアポート急行も止まります！

〈品川から約 30 分〉京急蒲田で下りエアポート急行に乗り換えて井土ヶ谷駅下車。
〈横浜から約 11 分〉下りエアポート急行で 2 つ（約 8 分）、普通で 5 つ

[井土ケ谷駅] 改札出て正面の信号を渡ってすぐ左折、1 つ目の交差点を右折、2 つ目の角を左折、三井のリパーク後ろ、blanClass の看板がある細い段々を上がって右の建物 2 階

info@blanclass.com　http://blanclass.com　twitter／facebook：blanclass

blanClass